

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童多機能型事業所 そらのいろ		公表日		令和 7 年 2 月 5 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要と思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		必要に応じて道具を訪問先に持っていき、使用している。	今後、利用者が増加しニーズが多様化した時には必要な道具等を用意できるようにしていく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に対応している。	今後、利用者が増加した際には適切な回数を利用できるように調整していく。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		訪問支援員だけではなく、児童発達支援や放課後等デイサービスで関わっている職員とも情報共有をしている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表で意向等を把握する機会を設けている。	利用者・保護者・支援者にとって充実した訪問支援を提供できるようにしていく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		訪問支援の内容を従業員に伝え、支援内容を検討している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者による外部評価は行っていない。	今後利用者が増加し、必要な状況になれば検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		必要に応じて研修を受講できる体制は整えている。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		利用希望を受けた時に利用児や保護者の困り事等を確認し、アセスメントした上で計画を作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		当事業所の児童発達支援または放課後等デイサービスを利用している方を対象として保育所等訪問支援を実施しており、訪問支援前に必ず職員で支援内容を検討している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先施設の担当者と訪問日時を調整させていただく際に利用児・保護者の希望等を伝え、担当者の希望・ニーズも確認した上で計画を作成している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成時に職員間で会議を実施している。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	日々の行動観察に対するアセスメントは実施しているが、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントは実施できていない。	今後、必要に応じてフォーマルなアセスメントも実施できるようにしていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		こども本人に対する支援、訪問先施設の職員に対する支援、家族への支援を具体的に設定するように心がけている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成時に職員間で会議を実施している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼の際に支援内容や役割分担について確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後または翌日の朝礼の際に支援の振り返りを行っている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		事前に訪問先の環境や担当者の考え等を確認した上で支援を実施するように心がけている。	

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援後に内容を記録し、検証・改善に努めている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		訪問支援を継続して利用していただく場合には、6か月に1回は本人・保護者・訪問先に対して以降の確認を行い、計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		訪問支援の担当者が会議等に参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて左記の機関と情報共有をしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	保育所等訪問支援を利用している未就学児が現時点ではないため実施していない。ただし、児童発達支援を利用している方に対しては情報共有の場に参画するように努めている。	今後、必要に応じて情報共有や相互理解を図っていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、他の職員も外部研修に参加できるように調整している。研修参加後は伝達講習をしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会子ども部会の定例会や保護者との情報交換会等に積極的に参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問支援実施後や日々の引き渡しの際に活動内容を保護者に伝え、適宜ご家庭や保育所・学校等での様子を共有している。	今後、より充実させていけるように努める。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングを自事業所では行っていないが、家族等の参加できる会（情報交換会等）の情報提供を行っており、職員もその会に参加している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		本人・保護者から利用希望があった際には訪問先施設に訪問支援の目的等について適切に説明するように努めている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画を作成する前にモニタリングを実施している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		計画の同意を得て支援している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者に相談支援の希望を確認し、主に対面形式で相談支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	自立支援協議会の情報交換会（保護者対象）に参加しているが、自事業所で保護者会を開催してはいない。	今後、保護者の要望を踏まえた上で開催できるように取り組んでいく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れがあった際には職員間で内容を確認し、できる限り対応するように努めている。	今後も迅速かつ適切に対応できるようにしていく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		約1か月に1回通信を発行し、当事業所での活動を利用児や保護者に発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に個人情報使用同意書を説明し、同意を得ている。また、通信やHPへの写真掲載についても契約時に書面で確認している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		見学・契約時に意思疎通や情報伝達の方法を確認した上で支援を開始している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問支援とは別に訪問先との情報共有や相談支援を行っているケースもある。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		カンファレンスという形ではないが、訪問支援を踏まえて情報共有をしている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		実施している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意するように努めている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		信頼関係を築けるように努めている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時にマニュアルを説明し、避難訓練等を適宜実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理に努めている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		内容を記録し、再発防止策を検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する外部の研修を受け、事業所内でも伝達講習等を実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束する必要がある場合には、利用児や保護者に事前に説明し了解を得ている。	